

# 横暖ルーフα

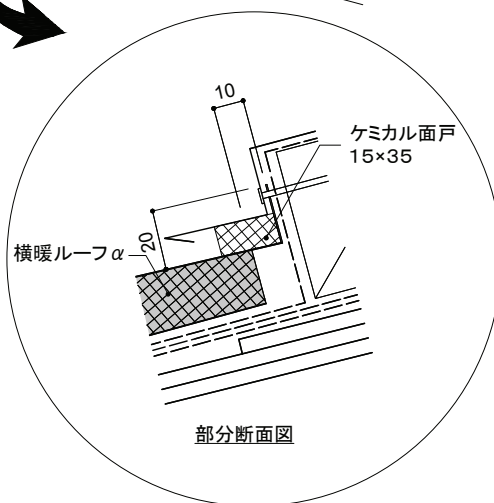
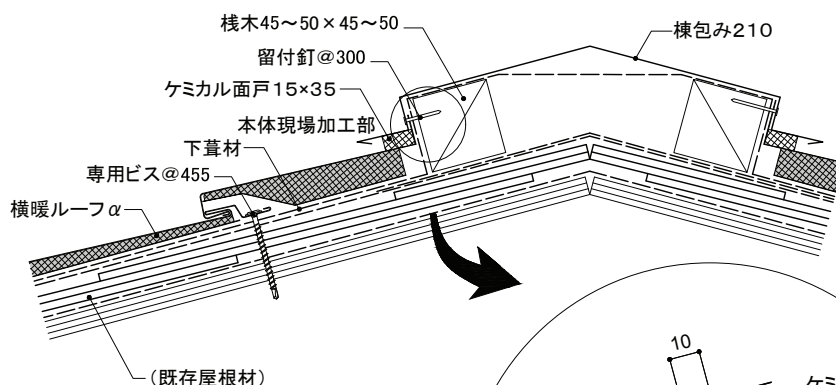
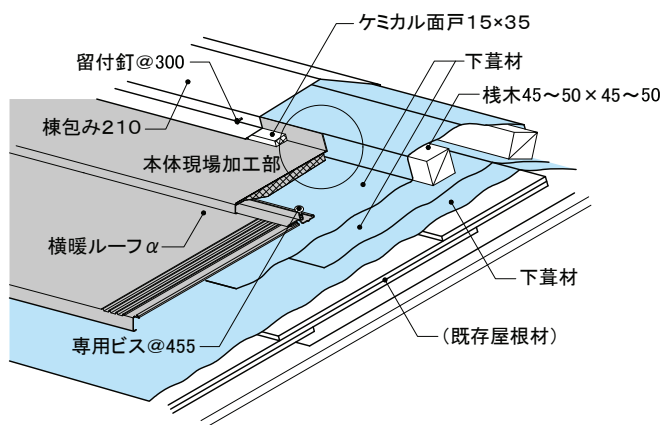
工法  
重ね葺き

既存屋根材  
セメント系新生瓦  
アスファルトシングル

## 6) 大棟部

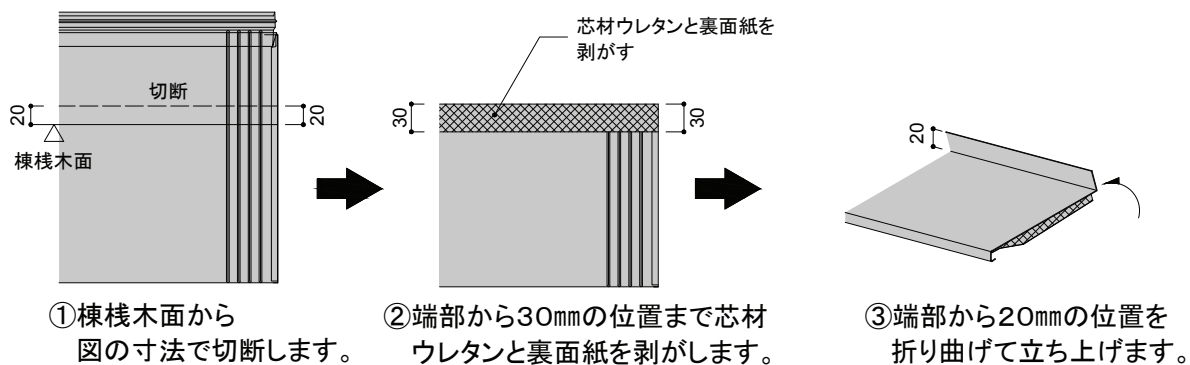
## ① 棟包み210

- 既存屋根材に下葦材を張ります。
- 棟部に棧木45～50mm×45～50mmを外側2ヶ所に取り付け、棧木を包むように下葦材を増し張りします。
- ※ 工事中は棟包み210に乗らないでください。工具・部材も置かないでください。棟包み210が変形するおそれがあります。
- 棟部は本体の図の位置にケミカル面戸15×35を貼り付け、棟包み210をかぶせるように施工します。棟包み210は留付釘(ステンレススクリーニング釘長さ32mm以上)を用いて、300mm以下の間隔で棧木に留め付けます。
- けらば部は棟包み210を使用して納めます。



### ■ 施工ポイント・現場加工図

- 横暖ルーフα 本体の大棟部分を図のように加工します。



設計  
外壁リフォーム

事前調査の方法

標準施工法  
外壁リフォーム

モエンサイディング  
重ね張り工法

モエンサイディング  
張り替え工法

センターサイディング  
重ね張り工法

設計  
屋根リフォーム

センタールーフ  
重ね葺き工法

アルマ  
重ね葺き工法

参考資料